

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日13:00～14:00

会長 菊地 富士子

例会場 ANAクラウンプラザ
グランコートホテル名古屋

幹事 荒山 久美

承認 2013年6月18日

公共イメージ
向上 藤谷 猛



2024～2025年度名古屋アイリスRCのテーマ

不易流行

～ DEIを取り入れて新しい風を私たちのクラブへ～

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: <http://www.nagoya-iris-rc.jp>

第49回 例会

3RC 合同ガバナー公式訪問

2024年9月11日 12:30～

- 司 会 島村恵三会・出席・親睦委員長
- 齊 唱 奉仕の理想(ソングリーダー:岩崎幸広
会長エレクト)
- 出席率 3RC 合同例会の為、割愛
- コボックス

名古屋北 RC 伴野友昭 会長 挨拶



只今ご紹介いただきました、名古屋北RC会長を務めさせていただきます伴野でございます。吉川ガバナー、本日はご指導よろしくお願ひいたします。またガバナー公式訪問にあたり、名古屋アイリスRC菊池会長をはじめ会員の皆様、ご準備いただき心より感謝申し上げます。

実は、吉川ガバナーとは、平成25年4月～同31年の3月までの6年間、名古屋市感染症協議会でご一緒させていただきました。協議会は隔週で行われていましたので、月に2回、年で24回、6年間で144回お会いしており、吉川ガバナーの素晴らしいお人柄はよく存じております。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、名古屋北RCにおける本年度のクラブテーマですが、「一隅を照らそう ～ Brighten the World at Your Corner ～」とさせていただきます。「一隅を照らす」とは、天台宗の開祖である最澄の「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」という言葉に由来するものです。ここに言う国宝とは、宝石などのことではなく、社会の一隅・片隅に居ながら社会を照らすような行動・活動をしている人こそが国の宝であるというものです。そして、その趣旨は、「一人ひとりが自分のいる場所をそれぞれ照らせば、それが積み重なって、組織が、地域が、社会が、日本が、世界が、この世全てが、照らされる」というところにあります。この一隅を照らすという最澄の精神は、アーチック会長が述べられた「ロータリーのマジックを使って世界を変えていきましょう」というロータリーの精神に通ずるものと思ひまして、本年度の名古屋北RCのクラブテーマとさせていただきます。

RCの奉仕活動によって、目の前の一隅から照らしていくために、そして、それを持続可能にしていくためには、楽しく活動できるRCにしていくことが先決になります。そのためには、例会を、会員が積極的に出席したいと思えるような魅力ある場所にして、親睦を深めていくことが必要になります。“親睦無くして奉仕なし”と言われるように、親睦を深めて絆が強固となったクラブによる奉仕活動は、勢いのある活発なものとなり、結果的にロータリーを成長させていくこととなります。そうしますと、世界も光で溢れることとなります。

このように、吉川ガバナーの掲げられた地区方針「魅力ある例会 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」を踏まえながら、一隅を照らしていくことが、地道ではありますが、輝く未来へ続く一番の近道であると考えております。

よりいっそう魅力ある例会にしていくため、私も、会員の皆さんの笑顔があふれるような挨拶を目指して頑張っていきたいと思ひます。

以上で挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

名古屋葵 RC 島原久資 会長 挨拶



吉川公章ガバナー様、本日はお忙しい中お越しいたき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。また、3ロータリーの関係者の皆様もお集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、吉川ガバナーと直接お話ができる貴重な機会に、こうして皆様とこのように一堂に会し、交流を深めることができることを大変嬉しく思っております。

吉川ガバナーは「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」を地区方針に掲げられて、特にロータリーの基本はクラブあるといわれています。当クラブは少人数ではありますが、このところ昨年の阿部前会長のご尽力もあり新たなメンバーが加わり先日の新入会員歓迎会を兼ねた例会では 100%リアル出席も実現することができました。そうした中で、今年度私たち名古屋葵ロータリークラブは創立 20 周年を迎えます。この 20 年間こうして当クラブが活動できたのも、皆様のお力添えと温かなご支援のおかげであり深く感謝申し上げます。来年 5 月 22 日には 20 周年式典の準備を

現在進めている最中です。改めてご案内をさせていただきます。

今年の当クラブの年間のテーマは「深める交流が創る新たなみらい～共に描こう 新たなアクション～」とさせていただきます。人間でいえば成人となる当クラブですが、新たなみらいを創り上げるためのスタートの年と位置付けました。交流する環境づくりが今年の自身の役目と捉え、クラブの活性化に努め地域社会へのさらなる貢献を目指してまいります。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様方の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

名古屋アイリス RC 菊地富士子 会長 挨拶



本日は第 2760 地区吉川公章ガバナー、片桐満地区幹事をお迎えし、名古屋北・名古屋葵・名古屋アイリスの 3 クラブ合同ガバナー公式訪問例会が開催されますこと大変喜ばしく思います。先程 3 クラブ合同の会長幹事懇談会が開催されました。吉川ガバナーより大変貴重なご意見をいただきました。今後のクラブ運営や奉仕活動に

役立てていきます。後程卓話楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願ひします。さて、ステファニー A アーチック RI 会長のテーマは「ロータリーのマジック」。それを受け吉川公章ガバナーは「魅力あるクラブ、持続可能な奉仕活動、成長するロータリー」と地区方針を掲げました。

当クラブは 12 年目を今歩みだしております。アイリスロータリークラブ会長方針は不易流行～DEI を取り入れて新しい風を私たちのクラブへ～。奉仕活動は、名古屋大学小児科病棟への継続事業を行っております。10周年を過ぎ 昨年、小児科病棟医局前の寄付者の銘板にアイリス RC の名前を刻んでいただくことができました。また、本年度は名古屋大病院と同時に、愛知子供ホスピスへの奉仕事業を地区補助金と利用して行います。

12 月 8 日、日曜日に入院しているお子様のお母様やご兄弟の方をお招きして「わくわくクリスマス会」を企画しております。仲間との親睦は奉仕の力を生みます。大きなマジックを起こすために会員増強は不可欠です。DEI を取り入れて新しいアイデアを確立し、帰属意識を育てていただける更により良いクラブ運営を目指し、実り多いロータリー活動を実践してまいります。

簡単ではございますが会長挨拶とさせていただきます。

酒井法丈ガバナー 卓話

ガバナー公式訪問 卓話
国際ロータリー第 2760 地区 2023-24 年度
酒井法丈ガバナー

【要約】

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー氏 メッセージ



深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。

研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮いたたせてくれることでしょう。

素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができます。より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地のよい、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう。

私見ですが「言い換えれば、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができます、入会候補者もロータリーに関心をもってくれる。」クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。だれもが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第なのです。

RI の重点事項

- ① ポリオプラスプログラム
- ② メンタルヘルス
- ③ 女兒のエンパワメント

ビジョン声明から DEI について

自身の中での「ロータリー像」について問いかけます。

- ① なぜロータリークラブに入会しましたか？
- ② ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？
- ④ ロータリークラブはどのようなことをしているのですか？
- ⑤ なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？
- ⑥ あなたのクラブを代表する活動は何ですか？

以上五つの事を自身に問いかけてビジョン声明を考えてください。

ビジョン声明

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合

って行動する世界を目指します」

ビジョン達成のための行動計画

I より大きなインパクトをもたらす

II 参加者の基盤を広げる

III 参加者の積極的なかかわりを促す

IV 対応力を高める

この I からIVまでの行動計画は皆さんに問いかけた「ロータリー像」の中にヒントがあります。

I は⑤に、II は①②に、III は③に、IV は④につながります。

I のインパクトをもたらすために、新たな方法を探りましょう。

II の基盤を広げるには、一緒に活動できるようにつながりと機会をつくり出しましょう。

III の積極的なかかわりを促すためには、ニーズを知りそのニーズに応える活動を実行しましょう。

IV の対応力を高めるには、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)

多様性は、ロータリー創立からの価値観として存在していたが、表層的な多様性ではなく、深層に思い致した対応が重要。公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうかが鍵となる。インクルージョンは、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれる。

プライド、ブランドとは

親睦と奉仕は、ロータリーの両輪の如く言われますが、実は一つの大きな「輪」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを培えることができる、これがロータリーの魅力ではないでしょうか。

よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

お願い

1. ロータリー財団への寄付
2. 地区大会への参加
3. RFF(ロータリー・フード・フェスティバル)への積極的な参加(チケット・企業協賛)
4. 世界大会でのガバナーナイトへの参加

会長・幹事懇談会

3RC 合同ガバナー公式訪問例会に先立ち 11:30 より ANA グランコートホテル名古屋 5 階にて「会長幹事懇談会」が開催されました。会議には、吉川公章ガバナー、片桐満地区幹事をはじめ、名古屋北 RC の伴野友昭会長と野牧久嗣幹事、名古屋葵 RC の島原久資会長と石丸泰雄幹事、名古屋アイリス RC の菊地富士子会長と荒山久美幹事が出席しました。

会議では、各クラブの会長によるクラブ運営に関する発表が行われ、続いて吉川ガバナーよりご講評を頂きました。ガバナーおよび地区幹事の片桐氏からは、有

意義なご意見と貴重なご指導を賜り、今後のクラブ運営に反映していく方針です。吉川ガバナー、片桐地区幹事には心より感謝申し上げます。

